

小倉逸品屋かわら版

Vol.6
2011年6月号

北九大の学生が逸品屋に初参加!



北九州大学
地域創生学群
高津 明日香

皆様こんにちは。北九州立大学地域創生学群2年の高津明日香です。いきなり名乗ってしまいました。これを読まれている方々のほとんどは、「逸品屋かわら版に何で大学生?」と考えると思います。実は、今回の小倉逸品屋フェアに大学の実習の一環で参加させていただくことになりました! という事で、今月号のかわら版では、北九大地域創生学群について、そして魚町サテライトについて、最後に今回の意気込みなどを少し書かせていただきます。

まず、私が所属する北九州立大学地域創生学群について紹介させていただきます。地域創生学群、略して「地創」・「学群」と学生は呼んでいます。今年で3年目のまだ新しい学部です。机の上での勉強はもちろんのことですが、それだけでは学べない社会に出てから必要となる力を「実習」という形で地域に出て学ばせて頂いております。実習先は様々で、それぞれが目的を持って活動しています。その中で私達は、小倉商店街プロジェクトという実習をさせていただき、1年〜3年の計二十三名で活動しています。そして、魚町のサンロード商店街の中にあるヴィーナスワンビル一階をお借りして、「魚町サテライト」を大学の組織である地域共生教育センターと共同で開設して、運営させていただいています。

さて、これを読んでいる皆様は魚町サテライトに来ていただいた事がありますか? 魚町サテライトでは、小倉の商店街の賑わいづくりを目的としています。そして、小倉に住む方々に改めて小倉の魅力を知っていただくために、市内のイベントのチラシなどを置いたり、今年は年間を通して、ギラヴァンツ北九州を特集させていただきます。小倉にきた際には、是非一度足を運んでみてください! 学生スタッフは、皆さまが来てくださるのをお待ちしております。

最後に、今回の逸品屋では、私たちが商店街の方々の協力を得ながら開発した商品(今は内緒です)を販売させていただく予定です! 現在、私を含め計三名で、先生や商店街の方にアドバイスをいただながら商品を検討中です。取り組んでいる事が、初めての事ばかりなので、一つ一つ勉強していきたいです。そして、地域の方とも沢山関わりたいです! 皆様、よろしくお願ひします。



このたびの東日本大震災で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。
又、亡くなられました方のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、1日も早い復興を願います。

京町からのつづやき。 小林文具店 小林 慶昭

皆さんは万年筆をお使いになったことがありますか? 最近、万年筆が再び注目されており、デザインやインクの色の種類も豊富です。万年筆はサラサラと書き味が良く、書いた文字の色に濃淡が出ますので、書いた時々の様々な表現をします。その文字を生み出すペン先ですが、国産メーカーのペン先は、日本語特有の「トメ」「ハネ」「ハライ」が書き易く作られています。ペン先は使用し続けると、手や書きグセに馴染んでいきますので、使い続けた万年筆は世界に一本の万年筆となります。そんな万年筆を使い、お好きな色のインクをつけて、気になる方、お世話になつていらっしゃる方などにお手紙を書いてはいかかでしょうか?

気仙沼の同志たち



なぎさ本舗
京都屋
禱 峰晴



三月十一日の東日本大震災で大きな被害があった地域の一つ、気仙沼にも、逸品運動に取り組んでいる仲間がいます。七割の店舗が被災され、6割の店舗は津波で店舗を流失されたそうです。そんな中、後ろ向きになつてはいけなさと仮設店舗で営業を再開された方。知人宅を賃借し、その玄関先で商売を再開された方。写真店の方は、すべての機械が水没し、新たに機械を購入して、水没した写真の修復サービスを精力的に行われているそうです。菓子店の方は、仲間の菓子店の厨房を借りて、お菓子を作り、車での移動販売をされているそうです。現地入りされた一店逸品の講師太田先生のお話では、報道されているように、「まち」はまったく原形をとどめておらず、そんな状況下でも、落胆するのではなく『三月十一日以前に戻るのではなく、新たに一からはじめよう』という、強い姿勢を感じたと言われていました。その強い姿勢に負けぬように、私共は、小倉逸品屋フェアを成功させて、同志のみんなを元気に出来る『何か』を送りたいと思います。

→マスコミで取り上げられた『絆カステラ』を移動販売している菓子店です。

新規参加店紹介

創伸接骨院



左: 上村伸哲先生
右: スタッフの中元さん

今年から参加されます「創伸接骨院」さんをご紹介させていただきます。田川で開業された、昨年の五月に京町銀天街に開業されました。現在、田川の整骨院は弟さんがされているそうです。今年の五月にご結婚されて幸せ一杯の「上村 伸哲」先生はまだ二十九歳の若さで、田川と京町に開業され、とても頑張つていらつしやいます。目標は整骨業界の「ドンキ・ホーテ」とい

住所 小倉北区京町一・二・十一
電話 093-513-2113
営業時間 午前 九時〜十三時
午後 十五時〜十九時半
休診日 日曜祭日 木曜日午後

うことで、「困った時、ここは整骨院に来れば間違いない」というような整骨院に関して何でも出来るようになりたいそうです! 取材に行き、色々診察して頂きましたが、とても気持ち良く、会話も楽しく、残念ながらすぐに時間が来てしまいました。逸品屋参加店の方も多く通院されています。ぜひ、一度行かれてみて下さい! 取材の様子は逸品屋ブログに掲載していますので、ぜひご覧ください!

取材者: 小林文具店 小林慶昭

平成23年 小倉逸品屋フェア実行委員会

主催: 魚町一丁目商店街振興組合
住所: 小倉北区魚町1丁目1-15-3F
HP: <http://www.kyomachi.com/kokura-ippinya/>

TEL: 093-551-4828 (FAX 兼用)
E-Mail: info@uomachi.com
ブログ: <http://ameblo.jp/kokura-ippinya/>

小倉逸品屋ブログのQRコードです



小倉逸品屋参加店紹介

カクシン

住所 小倉北区京町一・二・六
電話 093・521・3309
営業時間 九時〜十八時



昭和七年創業の歴史ある下駄屋さんです。オーナーの岡本さんは全国日専連の理事長でもあり、街づくりのアドバイザーとしてもグローバル的的確な意見番でもあり、毎日多忙にしておられます。皆さんご存じの「常盤橋」、この名称がなくなりそうになった時や、常盤橋たもとの広告塔の復元、「松本清張通り」の命名など、岡本さんがご尽力されました。「歴史を知ることが、人をつくり、街をつくる」とよく岡本さんは言います。文学と歴史の街づくりに対する想いは、僕も脱帽です。さて、

お店のほうも長年のファンが多く、鹿児島や名古屋など、全国のお客様のもとに「カクシン」の履物をお届けしています。お客様の要望にも、商売抜きの職人気質でとんとん仕上げるので、そのことも人気の秘訣かもしれませんね。その為か、呉服屋さんにも人気があります。よく呉服屋さんからの紹介のお客様が来られます。下駄屋さんが少なくなっている今日だからこそ、本物の職人のいる下駄屋さんはこれからも歴史をかさねていって「ものづくりの町、北九州」のヒーローな心を、全国にもっともっと広めてほしいものです。



取材者：工房 自由空間 松岡 忠夫

セブン

住所 小倉北区魚町一・一・十二
電話 093・521・1655
営業時間 一〇時〜十八時三〇分



魚町銀天街一丁目「セブン」と言うお店があります。「あらっ？ 右を見ても、左を見てもセブン??？」姉妹店にしては近すぎる。双子店? そうです。二店ともセブンなのです。姉妹店は魚町三丁目の「米七」さんです。美人店長の米原敦子さんを中心に店員さんたちも親切で素敵な方たちです。店内には、中高年の女性に似合いそうなおしゃれな服がいっぱいあります。チュニックやTシャツ、穿きやすさ抜群のパンツやレギンスなど種類の豊富な品揃えです。

店内には一点ものの商品が多いので、「自分の個性を生かした着こなしを楽しめますよ。そろそろ暑い夏ですね。さわやかな夏に最適な着こなしを「セブン」で見つけてみませんか？」



店長の米原敦子さん

取材者：野上神仏具店 野上 淳平



小倉逸品屋
こだわりの逸品がある
当店へ、気軽に立ち寄りつちやつて。

こだわりの逸品がある
当店へ、気軽に立ち寄りつちやつて。



小倉逸品屋ブログのQRコードです。各参加店の情報を掲載中です！

つじり茶屋

住所 小倉北区魚町三・二・十九
電話 093・521・3117
営業時間 一〇時〜二〇時



小倉逸品屋フェア参加のお店の中でも、「和」の雰囲気漂うお店で、ご存知の方は少ないかもしれませんが、実は、海外にも出店されているというグローバルなお店。「つじり茶屋」さんをご紹介します。場所は魚町3丁目の且過市場寄り。商店街を且過市場方面に向かって歩いて行くと、お茶のいい香りがしてくるので、すぐにお店を見つかることができます。お店の入り口付近には種類の豊富なお茶の葉があり、中に入るとそれ以外にも、お茶を使ったお菓子、紅茶、茶器、贈答用のお茶セット、ウニの瓶詰!?

などなどお茶に関連する商品がたくさん並んでいました。また、販売だけでなく入口のカウンターで、お茶やアイスクリームを注文して奥に足を運ぶとゆっくりくつろげるスペースがあり、喫茶を楽しむことができます。「写真は遠くから撮ってくださいね」とおっしゃる少し恥ずかしがり屋の店主奥様。おススメのメニューは宇治金時四二〇円、つじこおり五五〇円です。取材の後、あまりに魅力的だったので、喫茶コーナーで冷たい煎茶と抹茶サンデーをしっかりと堪能してしまいました。



取材者：小林時計店 佐川哲・笹木俊介

優美和装学院

住所 小倉北区京町一・二・十六 2F
電話 093・531・0310
受講日 要相談



講師 亜樹子さん

今回、なぎさ本舗 京都屋の2階にある「優美和装学院」をご紹介させていただきます。初めての取材というのもあって前日よりとても緊張していました。何を聞いていいのかわからず飛び込んだらどうしようもない私を笑顔で迎えて下さったのは、校長の禰亜樹子さん。とても優しくお話を聞かせてくださいました。

優美和装学院は、平成十七年より開校され、二〇代から五〇代までのさまざまな方が受講されているそうです。わからないところはすぐに聞けるようマンツーマン方式をとっているとのこと!! 受講日も特に決まっておらず、自分でスケジュールを組みながら受講できるという魅力です。自分で着物を着ることができたら、とても素敵ですね。今は、ゆかたの講習もあるとのこと、3回の受講で浴衣をきることが出来るようになるそうです。私も挑戦しようかと密かに思っています。

取材者：一丁目の元気 深野 依子

小倉逸品屋参加店

一丁目の元気、お好み焼き いしん、ゑり福、カクシン、カンバヤシタオル、きもの鈴乃屋、活魚居酒屋 味楽、化粧屋いざわ、工房 自由空間、小林時計店、創伸接骨院、酒房 武蔵、漆器JNスドウ、島添米穀店、つじり茶屋、陶器の戸田、ナカノテツ、とり肉のワールド、野上神仏具店、なぎさ本舗京都屋、はまだ洋装店、Pure la boutique 早水、米七、松田楽器店、ワコールショップ New しのはら、YY*SELECTION、小倉かまぼこ、北九州市立大学魚町サテライト、小林文具店